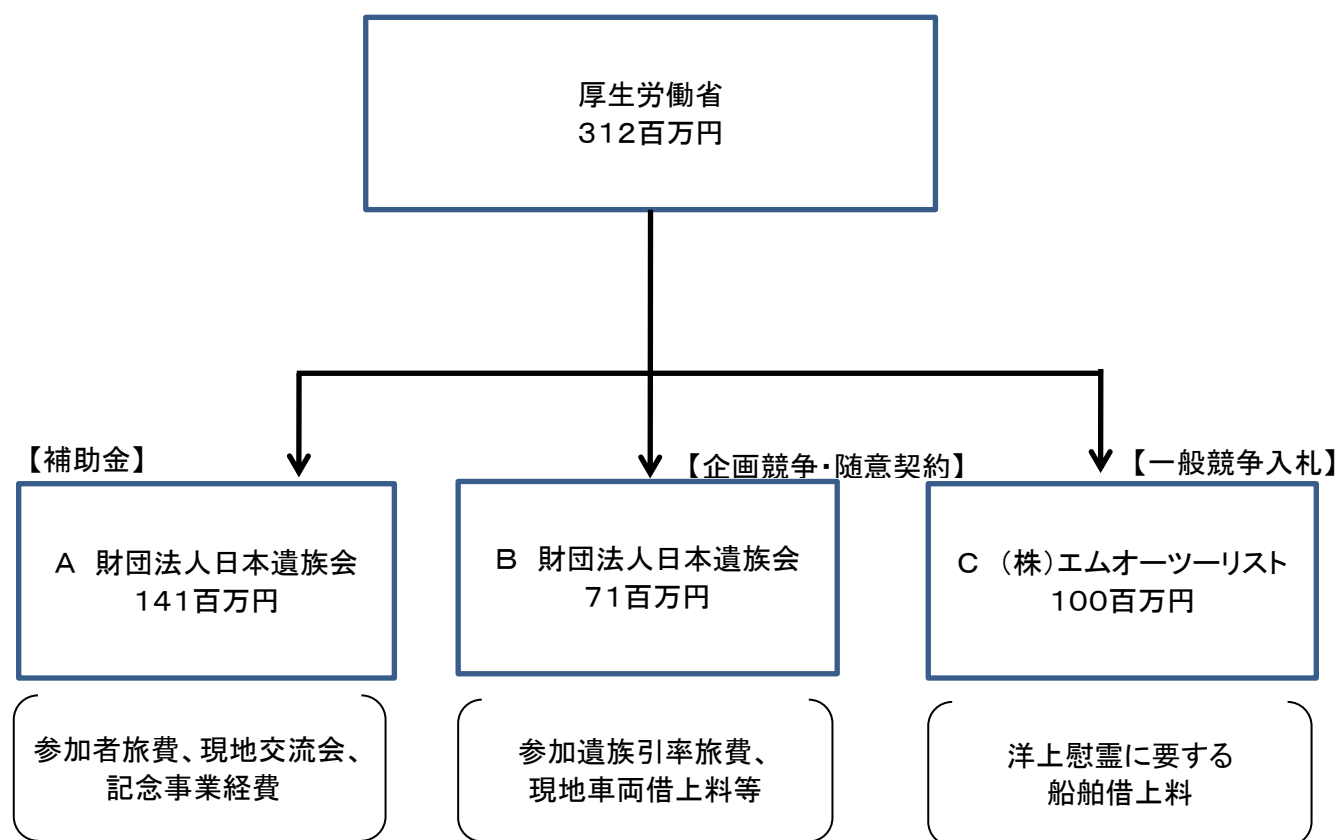


平成 2 3 年行政事業レビューシート (厚生労働省)											
事業名		慰霊友好親善事業			担当部局庁		社会・援護局			作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度		平成3年度			担当課室		援護企画課外事室			梅原 一豊	
会計区分		一般会計			施策名		Ⅳ－8－2 戦没者の遺骨の帰還等を行うことにより、戦没者遺族を慰藉する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-			関係する計画、通知等		平成23年度遺骨帰還等派遣費の国庫補助について (平成23年6月23日厚生労働省発社援0623第11号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		先の大戦における戦没者の遺児に対する慰藉の一環として、父を国に捧げた戦没者の遺児が、亡き父の眠る地に赴き心ゆくまで慰霊追悼を行うとともに、戦没者遺児が現地の人々と戦争犠牲者の遺族という共通の立場で友好親善を図り、相互理解を深める。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)		先の大戦における戦没者の遺児が、旧主要戦域を巡拝し、戦没者の慰霊追悼を行うとともに、旧主要戦域の関係者との友好親善のための記念事業(教育施設への学用品等の寄贈、公共施設等の清掃、現地戦争犠牲者との交流会、記念植樹)を行う(定額補助)。									
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
		予算 の 状 況	当初予算	289	289	315	272	272			
			補正予算								
			繰越し等								
			計	289	289	315	272	272			
		執行額		285	289	312					
		執行率 (%)		99	100	99					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
		本事業の目的である戦没者遺族の慰藉による成果については、定量的な把握、指標設定が困難			成果実績	—	—	—	—	—	
					達成度	%	—	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
		慰霊友好親善事業実施回数			活動実績 (当初見込み)	回	14	16	14 (14)	— (17)	
単位当たりコスト		22, 285, 857(円／回)			算出根拠	H22予算執行額312百万円／H22活動実績14回					
平成 2 3 ・ 2 4 年 度 予 算 内 訳	費 目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由						
	遺骨帰還等派遣費補助金		272	272	—						
計		272	272								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	(企画競争の理由) 慰霊事業の趣旨及び遺族の心情を深く理解し、事業の遂行にあたっても誠実に実施できる団体に委託する必要があるため。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	引き続き必要な経費を精査し、適切な慰霊友好親善事業を実施していくこととする。 平成23年度より、可能な限り競争的な選定となるよう補助金の交付対象を公募により選定する方式へ改めた。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状どおり		本事業は、旧主要戦域の関係者との友好親善のための経費であり、必要性及び執行の観点からも妥当であることから、今後も適切な執行に努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

【平成22年度実績額】



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.財団法人日本遺族会			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	参加遺族旅費	122			
消耗品費	教育施設寄贈品、交流会開催	17			
謝金	体験記執筆謝金	2			
計		141	計		0
B.財団法人日本遺族会			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	車両等借上	25			
雑役務費	通訳、添乗員雇上	19			
旅費	引率旅費	13			
消耗品費	追悼式用品購入	4			
賃金	賃金職員経費	4			
消費税	消費税	3			
その他	通信運搬費、印刷製本費	2			
計		71	計		0
C.(株)エムオーツーリスト			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	船舶借上料	100			
計		100	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人日本遺族会	現地交流会、祈念事業の開催	141		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人日本遺族会	現地慰霊に要する車両借上等	71	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エムオーツーリスト	洋上慰霊に要する船舶借上	100		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					